

## 一般病棟で RRT(ラピッドレスポンスチーム)が発動された患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

このたび国立病院機構東京医療センターにおいて、東京医療保健大学大学院 高度実践看護コースの大学院生である戸島 庸祐が「RRT(Rapid Response Team)発動症例の転帰に影響する因子の探索」という研究を実施いたします。

本研究の目的は、RRTが発動された患者さんのバイタルサイン、採血データ、手術歴、既往歴、内服薬など幅広い診療情報を用いて、急変リスクや転帰に影響する因子を明らかにすることです。既存のスコアでは評価が困難な潜在的リスク因子を特定し、早期介入や転棟判断の精度向上に寄与することを目指しています。

対象となるのは、2021年1月1日から2026年3月31日までに、当院の一般病棟でRRTが発動された18歳以上の入院患者さんです。

対象となる患者さんの診療録(カルテ)などから必要な情報を抽出し、研究用IDに置き換えて匿名化したうえで使用いたします。氏名、住所などの個人を特定できる情報が外部に漏れることは一切ありませんので、どうぞご安心ください。

調査で得られた結果は、医学的な学会や専門誌等で報告されることがありますが、個人が特定されることはありません。

本研究への参加をご希望されない場合は、下記までご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意いただいたものとして取り扱わせていただきます。なお、研究にご協力いただけない場合でも、今後の診療において不利益を被ることは一切ありません。

本研究に関するご質問等がございましたら、どうぞお気軽にお尋ねください。

2026年3月

研究責任者: 戸島 庸祐(東京医療保健大学 高度実践看護コース)

連絡先: kg025011@thcu.ac.jp

指導教員: 原口 昌宏(東京医療保健大学 講師)

電話: 03-5779-5032(内線: 217)